

令和7年度子どもスキップ運営協議会資料

子どもスキップの運営状況

令和8年3月24日

放課後対策課 児童支援グループ

目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和7年度事業報告

04 | 令和8年度新規・拡充事業

目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和7年度事業報告

04 | 令和8年度新規・拡充事業

01 | 事業概要

○子どもスキップは、小学校の余裕教室や校庭などを活用した、放課後の「子供同士の遊びと交流の場」である。

○平成16年に子どもスキップ南池袋の開設から、順次児童館をスキップに移行。平成28年に子どもスキップ池袋本町が開設し、区内22小学校内に整備された。

○平成29年度からは事業を区長部局から教育委員会へ移管し、学校との連携を強化することにより、一元的な安全対策や施設改修を実現している。

目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和7年度事業報告

04 | 令和8年度新規・拡充事業

02 | 子どもスキップの状況

(1) 学童クラブ児童専用区画の面積と定員

No.	施設名	児童専用区画 (㎡)	定員 (人)	No.	施設名	児童専用区画 (㎡)	定員 (人)
1	仰高	258.51	130	12	池袋	207.60	100
2	駒込	445.89	180	13	南池袋	307.45	180
3	巣鴨	279.18	150	14	高南	694.30	190
4	清和	313.31	150	15	目白	329.15	190
5	西巣鴨	249.68	120	16	長崎	211.50	128
6	豊成	307.01	120	17	要	259.24	150
7	朋有	396.77	230	18	椎名町	379.50	150
8	朝日	146.74	88	19	富士見台	261.96	130
9	池袋第一	245.00	148	20	千早	223.50	135
10	池袋本町	447.25	240	21	高松	368.50	190
11	池袋第三	450.17	190	22	さくら	242.78	120

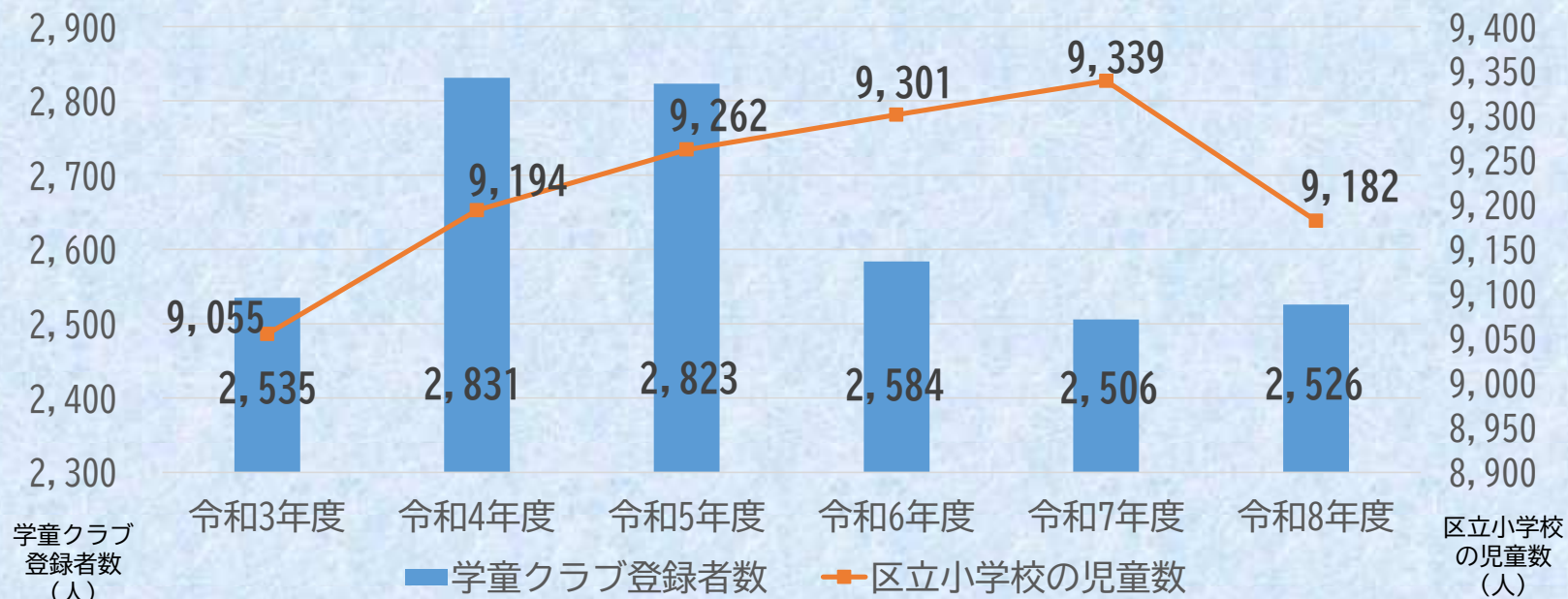
※R8.4.1現在



02 | 子どもスキップの状況

(2) 学童クラブ登録者数の推移

学童クラブの登録者数は、令和4年度以降減少してきたが、令和8年度は微増する見込みである。



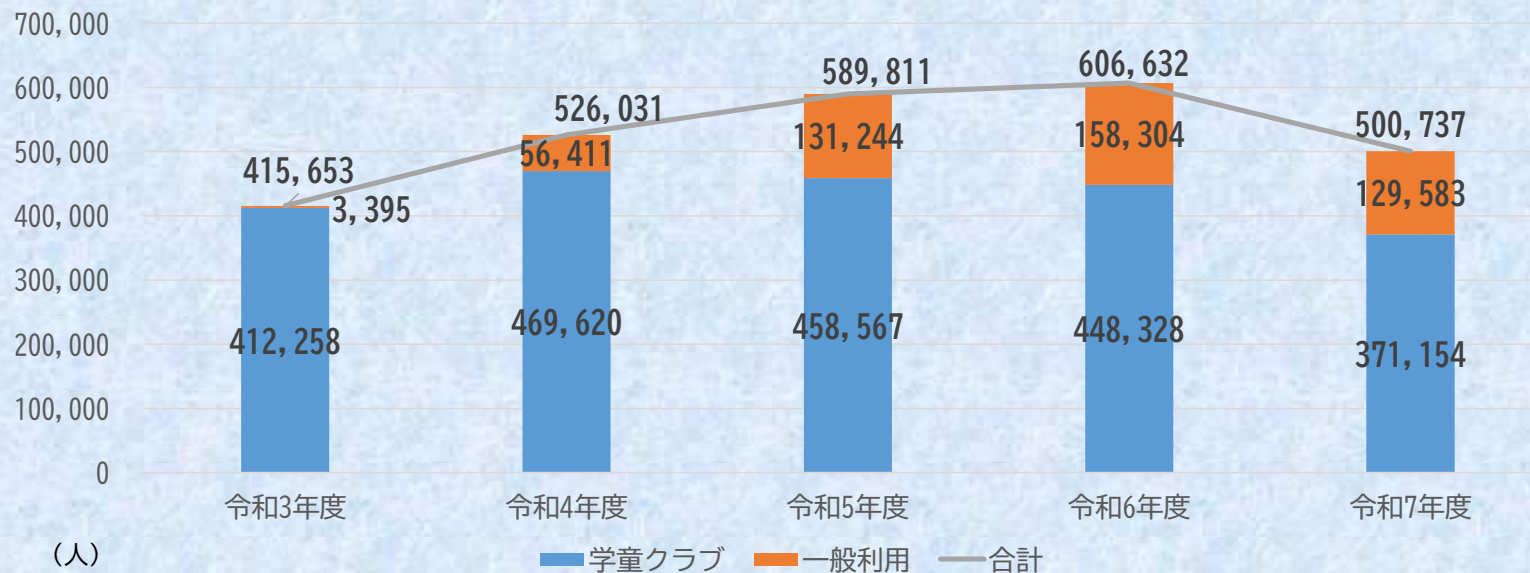
※R3からR7までは、5月1日現在。R8は4月1日の見込み



02 | 子どもスキップの状況

(3) 年間延べ利用者数の推移

学童クラブの年間延べ利用者数は、コロナ禍で減少し、その後年々増加してきたが、令和6年度は前年度と横ばいとなり、令和7年度も同程度の見込みである。一般利用の年間延べ利用者数はコロナ前の水準に戻りつつある。



※R3とR4の一般利用は、学年や人数、日にちを限定して実施。R5は5/8から一般利用を全面再開
※R7は、1月末までの集計

02 | 子どもスキップの状況

(4) 発生事故数等の推移

子どもスキップで発生する事故は、校庭や体育館で発生する割合が高く、症状としては、打撲が多い。

場所別発生件数

場所	件数			
	R4	R5	R6	R7
校庭	75	66	73	60
体育館	11	13	14	11
コア	14	7	10	3
セカンド	10	7	9	6
施設内階段	1	1	4	0
その他	13	12	11	10
合計	124	106	121	90

症状別発生件数

症状	件数			
	R4	R5	R6	R7
打撲	32	23	29	21
捻挫	10	10	11	3
すり傷	2	1	1	4
切創	3	4	4	6
火傷	0	0	0	0
骨折	30	33	29	9
脱臼	4	2	3	4
その他	43	33	44	43
合計	124	106	121	90

※R7は、2月末までの集計



02 | 子どもスキップの状況

(5) 子ども会議

各スキップでは利用児童による「子ども会議」を開催し、行事やルール決めなど、子どもスキップ運営に児童自らの意見を反映させている。

	R4	R5	R6	R7
子ども会議開催数(回)	105	139	145	144
子ども会議参加人数(人)	4,550	5,835	8,403	7,918
子どもの意見を反映した 行事やルール等の数(件)	231	336	449	358

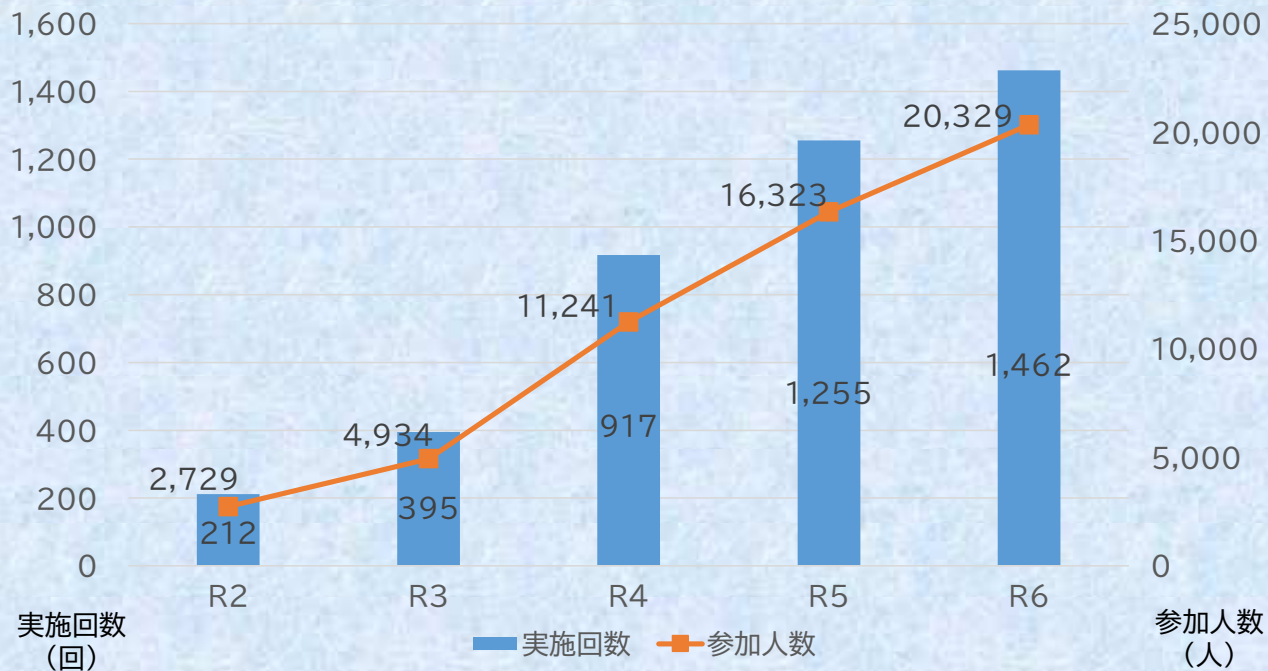
※R7は、1月末までの集計



02 | 子どもスキップの状況

(6) 放課後子ども教室

地域の住民の参加と協力を得て、学習、スポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの教室を開催している。



こものづくり



茶道教室



卓球にチャレンジ！



バスケットボール

目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和7年度事業報告

04 | 令和8年度新規・拡充事業

03 | 令和7年度事業報告

(1) 学童クラブ出欠確認等システムの導入

学童クラブに出欠確認等システムを導入。保護者は専用アプリを用いて出欠等の申請や連絡を行い、学童クラブはシステム上で児童の出欠や所在を確認できるようになった。

Before | ホワイトボードによる出欠・帰宅管理



After | 出欠確認等システムによる一元管理



■導入効果

- ・【人材】専門性の発揮と離職防止
事務負担を劇的に改善！
学童指導員が児童の育成・見守りに専念できる「本来の姿」を取り戻し、やりがいの向上及び職場定着率の向上
- ・【安全】事故リスクの大幅低減
保護者の入力が入力ダイレクトに反映され、ヒューマンエラーを構造的に排除
児童の安全と保護者の安心を担保
- ・【満足度】保護者の負担軽減と「つながり」の強化
多忙な保護者の連絡負担を最小化。時間、場所を選ばず、アプリで完結！
一斉配信や連絡帳機能により、施設への信頼感と満足度を向上

保護者の声

「アプリで連絡できるようになって非常に便利になった」
「スキップからのお知らせの確認漏れがなくなった」

03 | 令和7年度事業報告

(2) 「小1の壁」対策事業（朝夕の児童の児童の見守り）

学校用務員による朝の見守り、シルバー人材センター会員による学童クラブからの帰宅時の見守りを全区立小学校で実施。

朝の見守り おはようクラス

- 平日7時45分から登校時間まで、学校用務員が子どもスキップなどで児童を見守る。
- 小学校1年生で学童クラブ登録者かつ長期休業中等の早朝利用申請をしている児童が対象。
- 登録者は174名（11月末時点）



保護者の声

「安心して出勤できた」
「子どもが留守番をせず
に済んだ」
「何かあったときに頼れる
ものがあるだけで安心して
仕事ができる」

学童クラブからの帰宅時の見守り おかえりサポート

- 平日16時30分～18時過ぎまでの間、シルバー人材センター会員が学童クラブから帰宅する子どもを、暗い道や交通量の多い道を安全が確認できる地点まで見送る。
- 新年度当初の4月、暗くなる時間が早くなる10月～2月に実施。



子どもの声

「通学路が暗くて怖
かったから、一緒に帰っ
てくれてうれしい」
「大人がいると安心す
る」

03 | 令和7年度事業報告

(3) マルチスポーツ体験

(株)デサント、(株)MoveXと提携し、複数のスポーツを同時期に行う「マルチスポーツ」の考え方にに基づき、子どもスキップを利用する児童を対象に、毎週異なる4つのスポーツの体験機会を提供

施設名	期間	開催回数	種目
子どもスキップ目白	R7.10.2～R8.3.5	19回	①野球 ②テニス（スポレック） ③サッカー ④陸上
子どもスキップさくら	R7.11.5～R8.3.4	16回	①アルティメット ②バスケットボール ③陸上 ④バレーボール

※マルチスポーツ：子どもたちが複数のスポーツを同時期に行うことにより、身体機能の向上や怪我の防止に効果があり、また、複数のコミュニティーに所属することにより、社会性や協調性を育む機会の増加にもつながるとされている。



03 | 令和7年度事業報告

(4) 子どもスキップ環境改善

子どもスキップ各施設において、老朽化した設備の大規模修繕を行うとともに、設備の不具合対応や安全性向上のための各種修繕、物品整備を計画的に実施

■ 主な対応内容

- ・大規模修繕：照明・空調改修、門扉電子錠設置など
- ・各種修繕：エアコン、換気扇、ドア、畳、防犯設備など
- ・物品購入：延長コード、マット、冷蔵庫、キャビネットなど

■ 傾向

- ・空調・電気設備の老朽化対応が中心
- ・細かな修繕案件が多数発生
- ・物品は安全・利便性向上を目的

■ 今後の対応

- ・未対応案件の順次実施
- ・優先度を踏まえた計画的整備
- ・安全性確保を最優先に対応



目次

01 | 事業概要

02 | 子どもスキップの状況

03 | 令和7年度事業報告

04 | 令和8年度新規・拡充事業

04 | 令和8年度新規・拡充事業

(1) 子どもスキップ南池袋の環境整備事業

子どもスキップ南池袋の物品入替や設備の修繕等を行い、子どもたちにとって快適な居場所となるよう環境を整備する。

No.	項目	概要	経費
1	カーペットの入替	長年の使用により著しく劣化しており、衛生面や安全面の観点からも更新が必要な状況であることから新しいカーペットと取り換える。	415千円
2	遮熱カーテンの購入	夏季における室温上昇を抑制し、児童の熱中症予防を図るため、遮熱性能を有するカーテンへ更新を行う。	118千円
3	備品の入替	経年劣化により機能の低下や損耗があるものがあることから、児童の安全で快適な活動環境を維持するため、老朽化した備品の更新を行う。	2,145千円
4	廃棄物処理	上記に伴い発生した廃棄物の処理を行う。	349千円
合計			3,027千円

